

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社
 コード番号 4914 URL <http://www.takasago.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)榊村 聡
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)笠松 弘典 (TEL)03-5744-0523
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月27日 配当支払開始予定日 平成30年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	141,592	3.5	6,358	△11.2	6,720	△13.2	7,000	10.7
29年3月期	136,764	△3.5	7,159	7.9	7,745	28.3	6,327	29.6

(注) 包括利益 30年3月期 12,298百万円(77.5%) 29年3月期 6,927百万円(175.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	354.66	—	7.7	3.7	4.5
29年3月期	319.58	—	7.6	4.4	5.2

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 146百万円 29年3月期 105百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	190,760	98,402	50.8	4,907.21
29年3月期	177,134	87,211	48.4	4,341.83

(参考) 自己資本 30年3月期 96,874百万円 29年3月期 85,695百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	8,478	△7,187	△3,973	16,149
29年3月期	14,747	△7,010	△5,471	18,786

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	988	15.6	1.2
30年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00	1,085	15.5	1.2
31年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00		23.5	

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	150,000	5.9	4,900	△22.9	5,100	△24.1	4,200	△40.0	212.77

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期	20,152,397株	29年3月期	20,152,397株
② 期末自己株式数	30年3月期	411,155株	29年3月期	415,281株
③ 期中平均株式数	30年3月期	19,739,805株	29年3月期	19,797,880株

(参考) 個別業績の概要

平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	62,977	2.6	1,919	19.0	3,490	4.6	3,178	3.3
29年3月期	61,385	0.8	1,613	△5.5	3,338	21.5	3,076	39.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	161.02	—
29年3月期	155.38	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
30年3月期	137,307	68,463	68,463	68,463	49.9	3,468.04	3,468.04	
29年3月期	130,466	62,238	62,238	62,238	47.7	3,153.37	3,153.37	

(参考) 自己資本 30年3月期 68,463百万円 29年3月期 62,238百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、平成30年5月24日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策の継続により企業収益や雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調が持続し、個人消費についても底堅く推移いたしました。一方、世界経済は、緩やかな回復基調にあったものの、米国の政策運営や欧州の政治情勢等の影響、中東や朝鮮半島の地政学リスクの高まりなど、依然として先行きが不透明な状況となっております。

香料業界においては、中国や東南アジア他の海外市場での成長が引き続き期待できるものの、国内外ともに成熟市場での事業展開においては、競合他社との競争環境が一段と厳しくなっております。

このような中、当社グループは「地球環境に配慮し、地域社会を大切にしたい、世界の人々から共感を得られる企業を目指す」、「信頼される商品を提供し続けることにより、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指す」の経営基本方針の下、中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (GP-3)』（2015-2017年度）に取組み、「技術革新に基づく価値創造」、「挑戦する人材の育成」を通じて、創業100周年を迎える2020年に向けて飛躍的な成長を目指し、堅固なグローバル連結経営により事業を推進いたしました。

当連結会計年度の売上高は、前期比3.5%増の141,592百万円となりました。部門別売上高では、フレーバー部門は、ドイツ子会社等が好調に推移し、前期比1.5%増の83,312百万円、フレグランス部門は、フランス子会社等が好調に推移し、前期比6.3%増の38,183百万円、アロマイングリディエント部門は、主力品メントールが堅調に推移し、前期比8.4%増の11,409百万円、ファインケミカル部門は、医薬中間体が伸長したことにより、前期比6.7%増の7,246百万円となりました。その他不動産部門は、前期比1.1%増の1,441百万円となりました。

利益面では、営業利益は前期比11.2%減の6,358百万円、経常利益は前期比13.2%減の6,720百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10.7%増の7,000百万円となりました。

セグメントにつきましては、日本は、当社のアロマイングリディエント部門が好調に推移し、売上高は65,340百万円（前期比0.3%減）、営業利益は2,631百万円（前期比5.1%増）となりました。米州は、米国子会社の基盤強化に伴うコスト増等により、売上高は32,359百万円（前期比2.9%増）、営業利益は610百万円（前期比45.7%減）となりました。欧州は、ドイツ子会社等が好調に推移し、売上高は22,083百万円（前期比21.2%増）、営業利益は1,224百万円（前期比92.8%増）となりました。アジアは、シンガポール子会社等が前期を下回り、売上高は21,809百万円（前期比1.2%増）、営業利益は1,771百万円（前期比32.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して13,625百万円増加し、190,760百万円となりました。主なものは、投資有価証券の増加5,944百万円、受取手形及び売掛金の増加3,944百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,434百万円増加し、92,357百万円となりました。主なものは、長期借入金の減少3,772百万円、支払手形及び買掛金の増加2,610百万円、繰延税金負債の増加1,608百万円、短期借入金の増加1,162百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して11,191百万円増加し、98,402百万円となりました。主なものは、利益剰余金の増加6,013百万円、その他有価証券評価差額金の増加4,015百万円、為替換算調整勘定の増加1,045百万円であります。

以上により、自己資本比率は48.4%から50.8%に増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2,637百万円減少し、16,149百万円となりました。

営業活動による資金の増加は8,478百万円となりました。主なものは、税金等調整前当期純利益7,062百万円、減価償却費5,792百万円、売上債権の増加3,474百万円であります。

投資活動による資金の流出は7,187百万円となりました。主なものは、有形固定資産の取得による支出5,695百万円であります。

財務活動による資金の流出は3,973百万円となりました。主なものは、短期借入金の増加1,259百万円、長期借入れによる収入2,686百万円、長期借入金の返済による支出6,431百万円であります。

（4）今後の見通し

当社グループは、本年度より新中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (One-T)』（2018-2020年度）に取り組んでまいります。「顧客満足度の向上」、「事業成長戦略」、「技術革新」、「利益体質改善」、「人材開発」の5つのグループ基本方針の中心に「コーポレート」という概念を据えて、グローバル企業として必要な基準、仕組みを統一、整備し、ガバナンスの強化、グローバル機能の向上に努めてまいります。これらの基本方針を通じ、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指してまいります。

平成31年3月期の連結業績は、売上高150,000百万円（前期比5.9%増）、営業利益4,900百万円（前期比22.9%減）、経常利益5,100百万円（前期比24.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4,200百万円（前期比40.0%減）としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,786	16,149
受取手形及び売掛金	30,464	34,408
商品及び製品	19,347	19,862
仕掛品	99	91
原材料及び貯蔵品	13,823	15,164
繰延税金資産	1,178	1,389
その他	4,558	6,396
貸倒引当金	△235	△237
流動資産合計	88,023	93,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,687	70,004
減価償却累計額	△35,826	△37,714
建物及び構築物 (純額)	31,860	32,290
機械装置及び運搬具	61,078	63,367
減価償却累計額	△47,767	△49,709
機械装置及び運搬具 (純額)	13,311	13,657
工具、器具及び備品	11,931	12,797
減価償却累計額	△9,249	△9,820
工具、器具及び備品 (純額)	2,682	2,977
土地	7,096	7,331
建設仮勘定	2,565	2,305
有形固定資産合計	57,515	58,562
無形固定資産	1,991	1,734
投資その他の資産		
投資有価証券	26,886	32,830
出資金	215	215
退職給付に係る資産	1,302	1,552
繰延税金資産	207	1,453
その他	1,429	1,602
貸倒引当金	△437	△417
投資その他の資産合計	29,603	37,237
固定資産合計	89,110	97,534
資産合計	177,134	190,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,770	15,380
短期借入金	16,815	17,978
1年内返済予定の長期借入金	6,711	6,779
1年内償還予定の社債	340	540
未払法人税等	1,110	1,134
繰延税金負債	4	-
賞与引当金	1,723	1,761
役員賞与引当金	23	27
その他	8,535	9,134
流動負債合計	48,034	52,736
固定負債		
社債	1,640	1,100
長期借入金	27,295	23,523
繰延税金負債	4,865	6,477
役員退職慰労引当金	11	3
退職給付に係る負債	7,184	7,653
その他	891	862
固定負債合計	41,888	39,620
負債合計	89,922	92,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,358	8,368
利益剰余金	56,980	62,994
自己株式	△929	△921
株主資本合計	73,658	79,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,391	17,406
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,640	△595
退職給付に係る調整累計額	287	373
その他の包括利益累計額合計	12,036	17,184
非支配株主持分	1,516	1,528
純資産合計	87,211	98,402
負債純資産合計	177,134	190,760

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	136,764	141,592
売上原価	92,529	96,743
売上総利益	44,234	44,849
販売費及び一般管理費	37,075	38,490
営業利益	7,159	6,358
営業外収益		
受取利息	96	113
受取配当金	386	411
持分法による投資利益	105	146
その他	719	496
営業外収益合計	1,307	1,168
営業外費用		
支払利息	535	504
為替差損	51	143
その他	134	158
営業外費用合計	721	807
経常利益	7,745	6,720
特別利益		
固定資産売却益	2	12
投資有価証券売却益	487	396
補助金収入	1,470	-
特別利益合計	1,961	409
特別損失		
固定資産処分損	125	67
減損損失	86	-
固定資産圧縮損	1,457	-
特別損失合計	1,670	67
税金等調整前当期純利益	8,037	7,062
法人税、住民税及び事業税	1,568	1,600
法人税等調整額	△49	△1,650
法人税等合計	1,519	△49
当期純利益	6,518	7,111
非支配株主に帰属する当期純利益	190	110
親会社株主に帰属する当期純利益	6,327	7,000

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	6,518	7,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,356	4,016
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△1,913	1,140
退職給付に係る調整額	1	88
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△59
その他の包括利益合計	409	5,186
包括利益	6,927	12,298
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,863	12,148
非支配株主に係る包括利益	63	150

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,358	51,520	△626	68,500
会計方針の変更による 累積的影響額			26		26
会計方針の変更を反映 した当期首残高	9,248	8,358	51,546	△626	68,526
当期変動額					
剰余金の配当			△892		△892
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,327		6,327
自己株式の取得				△302	△302
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	5,434	△302	5,131
当期末残高	9,248	8,358	56,980	△929	73,658

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	11,035	△2	180	286	11,499	1,612	81,613
会計方針の変更による 累積的影響額							26
会計方針の変更を反映 した当期首残高	11,035	△2	180	286	11,499	1,612	81,639
当期変動額							
剰余金の配当							△892
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,327
自己株式の取得							△302
自己株式の処分							—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	2,355	1	△1,821	0	536	△96	440
当期変動額合計	2,355	1	△1,821	0	536	△96	5,571
当期末残高	13,391	△0	△1,640	287	12,036	1,516	87,211

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,358	56,980	△929	73,658
会計方針の変更による 累積的影響額					—
会計方針の変更を反映 した当期首残高	9,248	8,358	56,980	△929	73,658
当期変動額					
剰余金の配当			△986		△986
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,000		7,000
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		10		12	22
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	10	6,013	7	6,031
当期末残高	9,248	8,368	62,994	△921	79,690

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	13,391	△0	△1,640	287	12,036	1,516	87,211
会計方針の変更による 累積的影響額							—
会計方針の変更を反映 した当期首残高	13,391	△0	△1,640	287	12,036	1,516	87,211
当期変動額							
剰余金の配当							△986
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,000
自己株式の取得							△4
自己株式の処分							22
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	4,015	0	1,045	85	5,147	12	5,159
当期変動額合計	4,015	0	1,045	85	5,147	12	11,191
当期末残高	17,406	△0	△595	373	17,184	1,528	98,402

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,037	7,062
減価償却費	5,422	5,792
減損損失	86	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△89	△52
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	285	437
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△104	△112
受取利息及び受取配当金	△483	△525
支払利息	535	504
投資有価証券売却損益 (△は益)	△487	△396
固定資産処分損益 (△は益)	123	54
固定資産圧縮損	1,457	-
補助金収入	△1,470	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△137	△3,474
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△252	△1,518
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,029	2,338
その他	1,218	△484
小計	15,171	9,626
利息及び配当金の受取額	534	600
利息の支払額	△533	△509
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,295	△1,538
補助金の受取額	870	300
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,747	8,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,529	△5,695
有形固定資産の売却による収入	8	33
無形固定資産の取得による支出	△414	△286
投資有価証券の取得による支出	△25	△26
投資有価証券の売却による収入	533	403
子会社増資による支出	△176	△108
子会社株式の取得による支出	△3	△2
貸付けによる支出	△710	△1,663
貸付金の回収による収入	316	170
その他	△9	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,010	△7,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,658	1,259
長期借入れによる収入	7,423	2,686
長期借入金の返済による支出	△5,522	△6,431
社債の償還による支出	△340	△340
自己株式の取得による支出	△302	△4
配当金の支払額	△892	△986
非支配株主への配当金の支払額	△159	△138
その他	△18	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,471	△3,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	△515	45
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,749	△2,637
現金及び現金同等物の期首残高	17,037	18,786
現金及び現金同等物の期末残高	18,786	16,149

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に香料を製造・販売しており、提出会社、国内子会社、在外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各会社において戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各会社を報告セグメントとした場合、非常に多数の報告セグメントが開示されることとなるため、経済的特徴や製品及びサービスの内容等を鑑み、当社は、地域別に「日本」「米州」「欧州」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、香料事業の製造・販売を主な事業内容として、さらに各事業に関連する研究及び不動産賃貸、その他の活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	65,529	31,455	18,219	21,560	136,764	—	136,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,109	490	1,933	235	13,770	△13,770	—
計	76,639	31,945	20,152	21,796	150,534	△13,770	136,764
セグメント利益	2,504	1,123	635	2,639	6,902	257	7,159
セグメント資産	119,144	22,864	21,249	25,671	188,929	△11,794	177,134
その他の項目							
減価償却費	3,086	773	666	896	5,422	—	5,422
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,292	555	2,297	1,186	7,331	—	7,331

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額257百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額192百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額67百万円、及びその他△1百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△11,794百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△11,196百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△799百万円、及びその他200百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	65,340	32,359	22,083	21,809	141,592	—	141,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,020	453	2,341	308	15,125	△15,125	—
計	77,361	32,812	24,425	22,117	156,718	△15,125	141,592
セグメント利益	2,631	610	1,224	1,771	6,237	120	6,358
セグメント資産	126,285	23,509	26,813	26,800	203,408	△12,648	190,760
その他の項目							
減価償却費	3,172	829	826	965	5,794	—	5,794
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,747	483	1,464	657	6,354	—	6,354

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額120百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額209百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△85百万円、及びその他△2百万円が含まれております。
- (2) セグメント資産の調整額△12,648百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△11,988百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△888百万円、及びその他228百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	4,341円83銭	4,907円21銭
1株当たり当期純利益	319円58銭	354円66銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	6,327	7,000
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	6,327	7,000
普通株式の期中平均株式数（千株）	19,797	19,739

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当連結会計年度末 (平成30年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	87,211	98,402
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	1,516	1,528
（うち非支配株主持分（百万円））	(1,516)	(1,528)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	85,695	96,874
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	19,737	19,741

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

【取締役】(平成30年6月27日付予定)

(1) 新任取締役候補

水野 直樹 (現 執行役員)

磯野 裕一 (現 執行役員)

川端 茂樹 (現 執行役員)

(2) 退任予定取締役

松尾 孝司 (現 取締役常務執行役員)

アルフレド・エー・アスンシオン (現 取締役常務執行役員)

【執行役員】(平成30年6月27日付予定)

(1) 昇任

常務執行役員 水野 直樹 (現 執行役員)

常務執行役員 磯野 裕一 (現 執行役員)

常務執行役員 川端 茂樹 (現 執行役員)

(2) 新任

執行役員 隈元 浩康

執行役員 木林 孝之

執行役員 佐藤 文則

執行役員 川野 明彦

(3) 退任

常務執行役員 アルフレド・エー・アスンシオン

常務執行役員 松尾 孝司

執行役員 佐用 昇